

2022年度秋季研究発表大会

9月8日(木)・9日(金)
札幌学院大学・新札幌キャンパス



研究発表募集中 申し込み締め切り8月5日

■大会概要（対面形式）



日程 2022年9月8日（木）～9日（金）
会場 札幌学院大学 新札幌キャンパス 札幌市厚別区中央1条5丁目1-1
(JR新札幌駅より徒歩5分、地下鉄新さっぽろ駅1番出口より徒歩1分)

■論文募集要項

研究発表大会の発表者(第一著者)は正会員または学生会員であること。発表テーマ等詳細情報は随時[大会公式ウェブサイト](https://www.spm.or.jp/committee/2022autumn/)<<https://www.spm.or.jp/committee/2022autumn/>>に掲載予定です。

入会申し込み <https://spm.or.jp/admission/guide/>

応募方法 学会ウェブサイト<https://spm.or.jp/>から申し込み **(2022年8月5日まで)**

全ての発表者の方は、A区分又はB区分から1つを選択してください。学生会員が第一著者の場合は、学生表彰に応募するか否かを選択して下さい。学生表彰応募者は、表彰式(9月8日)に参加する必要があります。

- ・発表のみ(A区分): 2～15ページの原稿
- ・学会誌への投稿を兼ねる発表(B区分): 6～15ページの原稿

B区分で発表申込をすると、投稿された論文はそのまま論文審査・編集委員会による正式論文としての査読に回されます(再提出の機会はありません)。審査完了前に同じ内容の論文を他学会に投稿したり、他所で発表したりすると「二重投稿」と呼ばれる重大な違反行為になりますので注意してください。

■論文提出

論文投稿システムによる提出。**フルペーパー8月15日締め切り**(以降は編集不可)

■問い合わせ先

spm_conference@spm.or.jp お問い合わせの前にFAQをご覧ください。

■キーノート



「大学教育における
プロジェクトマネジメント」

河西邦人氏
札幌学院大学学長



「持続可能な社会の実現に向けた
イノベーション・マネジメント」

山田 昭夫氏
日本電気株式会社執行役員
研究開発部門長



「大阪の行政デジタル改革とスマートシティ戦略
～ 2025年大阪・関西万博を控え、大阪のデジタル都市改革が始動する～」

坪田知巳氏
大阪府CIO最高情報統括責任者 兼 スマートシティ戦略部長

■参加費	正会員		学生会員		非会員	
	早割	通常	発表者	早割・通常	早割	通常
研究発表大会(9/8-9)	13,000円	15,000円	無料*1	3,000円	18,000円	20,000円

法人会員は一口あたり3名まで正会員料金で参加可能。**8月22日までお支払いの場合には早割り価格**で参加いただけます。支払は、クレジットカード払い(VISA, MasterCard, JCB), 請求書払いのいずれかの方法となります。お支払後の返金はできませんのでご了承ください。なお当日欠席される場合でも参加費はお支払いいただきます。また出席者の交代は一切ご遠慮ください。*1「学生会員」かつ「発表者(第一著者)」に限ります。

「大学教育におけるプロジェクトマネジメント」

札幌学院大学学長 河西邦人氏

産業界等からの要請により、大学はその運営や教育の改革を進めている。例えば、Society 5.0に不可欠な技術発展のための研究と教育を推進、またSDGsや地方創生につながる社会課題の解決を担うづくりを大学は求められている。そこで札幌学院大学は社会課題解決の知識と能力を身につけることを目的としたProblem Based LearningやProject Based Learning (PBL) という科目を導入し、学生が行政や企業から持ち込まれた課題を講義の中で分析、解決策の考案、プロジェクト計画の策定、できる範囲で課題解決を行い、その成果を検証している。教育活動と社会課題の解決を両立する、札幌学院大学で行われるPBLのプロジェクトマネジメントに関して考察する。



■キーノート2 9月9日 10:00-11:00

「持続可能な社会の実現に向けたイノベーション・マネジメント」

日本電気株式会社執行役員 兼 研究開発部門長 山田昭雄氏

NECは、「あくなきイノベーションの追求」をPrinciplesに掲げている。ここでいう“イノベーション”とは、いわゆる技術革新にとどまらず、社会価値の創出により社会課題解決に貢献することを指している。

SDGsなどで示されている社会課題に対して、取り組むべきソリューションを絞り込み、その実現に必要な技術アセットを効率的かつ早期に揃え、いち早く価値を社会に届けることが基本方針である。バリューチェーン全体の革新をマネジメントし、技術力の強化と展開、事業化によって、持続可能社会での新しい社会価値の提供を目指す取り組みを紹介する。



■キーノート3 9月9日 13:20-14:20

「大阪の行政デジタル改革とスマートシティ戦略

～ 2025年大阪・関西万博を控え、大阪のデジタル都市改革が始動する ～」

大阪府CIO最高情報統括責任者 兼 スマートシティ戦略部長 坪田知巳氏

多くの自治体が応募した「スーパーシティ型国家戦略特別区域」指定の激戦を勝ち抜き、大阪府市の提案が国により選ばれた。2025年に開催される大阪・関西万博を控えて、大阪府市のスーパーシティ / スマートシティ計画が加速している。万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実践するスマート・ヘルス・シティを目指した取り組みやスーパーシティの概要について紹介する。また、全国でも例のない規模となった官民協議会「大阪スマートシティパートナーズフォーラム」を舞台に繰り広げられる官民共同エコシステムや、大阪独自のデジタル田園都市国家構想の進め方を説明しつつ、日本がデジタル後進国に陥った原因についても分析を加え、今後の日本の行政デジタル改革の方向性を展望する。



Young Crewイベント

9月9日 14:40-16:00

「IPMAの知見から始める若手PMの成長に向けたコンピテンスの獲得」

IPMAのコンピテンスやYoung Crew活動（グローバル連携やイベントなど）による知見をYoung Crewメンバが紹介するとともに、参加する若手PM同士の現場での経験や課題を共有することで新たな気づきや知見を得る機会とします。また、将来のPMが求められるコンピテンスを議論しキャリアアップや成長プランにつなげていくことを目的としています。 **参加対象：35歳以下のPMに関わる及び興味がある社会人、学生**



後援:(予定)

一般財団法人日本科学技術連盟

特定非営利活動法人ITコーディネータ協会

一般社団法人情報サービス産業協会

一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会

一般社団法人電子情報技術産業協会

協賛:(予定)

公益社団法人日本経営工学会

一般社団法人日本品質管理学会

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

日本信頼性学会

一般社団法人日本設備管理学会

一般社団法人経営情報学会

研究・イノベーション学会

公益社団法人精密工学会

公益社団法人土木学会

一般社団法人電気学会

一般社団法人日本機械学会

一般社団法人電子情報通信学会

日本ファンクションポイントユーズ会

2022年度秋季研究発表大会オフィシャルツアーについては、**別紙**をご覧ください。**申込締め切り 7月28日(木)**

問合せ先: TEL 050-1743-8911

Mail spm-2022@his-world.com

(担当 木村・加藤・中嶋・平岡)